

春爛漫の本日、羽田福山市長のご出席・柳井市老連会長・池口元老大学長を始めとするご来賓・講師の先生方のご臨席を賜り、大勢の老大学生の出席をいただき、福山市老人大学第46期入学式が盛大に挙行できますことを大変有難く嬉しく存じます。

今年度の老大学生数は二六四七名、昨年度より46名の減員となりました。

最高齢は男子96歳、女子95歳。それぞれ1歳ずつ向上しました。90歳以上の方は男子10・女子16名 計26名で昨年より6名増えています。そして、80歳以上の方の割合が初めて20%を超えました。

男女合同の平均年齢は、74.0歳で、昨年度より更に0.4歳向上しています。高齢社会を反映して老大学生の高齢化が進んでおり、健康寿命を伸ばして元気に通学される学生が多く居られます。健康の秘訣を教わりたいものです。

他方、体調不良で入学辞退・中途退学・年度代わりを機に卒業される方も増えています。

老人大学の目的の第1は、福山市の高齢者の「健康づくりと生き甲斐づくり」のための生涯学習の機会を提供することです。

そこで、老人大学に永く元気に通学していただけるために、

- ① 体力づくりに直接つながる教科やクラブ活動の充実
  - ② 休憩時間のラジオ体操の強化
  - ③ 老大大での健康診査の継続
- などに取り組みます。

本講座の教科につきましては、昨年度末で手芸とハーモニカの2教科を廃止し、新年度からは、昨年度新設の普通科英会話2クラスに加えて研究科2クラスを増設、古典文学の3クラス目を普通科・研究科同時増設、太極拳の二クラス目を普通科・研究科同時増設、昨年度新設の普通科茶道抹茶に研究科を増設しました。他方、園芸科と民謡科を共に3クラスから2クラスに減少させました。

老人大学は、高齢者の生涯学習の場としての役割を担っていくために、これからも、学生の興味・関心に沿って開設教科を変更しながら、高齢者の学習ニーズに応じていかなければと考えています。

なお、パソコンの日進月歩に対応するため、これまでのパソコン科受講生から頂いてきた1人5000円のパソコン機器維持費から255万円を支出して、この春休み中にパソコン教室の機器の更新作業を行ないました。新年度からは最新の機器で学習していただきます。

老大人は、職業生活や子育てを終え、第二の人生を楽しく過ごそうとされる方が多く集っています。同じ時代を共に歩んできた同世代同士として同一性や親近感を共有できる場です。新たな友情を育むことが出来ます。

従って、これまでの経歴や社会的立場を競い合ったり詮索したりして、他人の気持ちや傷つけることは、老人大学に期待されている目的に反することです。「前歴を問わず語らず」は、「友だちづくり」の大切なマナーです。

まして、他人の個人情報や本人の了解もなく他の人に漏らしたり、誰かを差別したりすることは、絶対にあってはなりません。互いの人権を尊重し合い、全ての老

大生が等しく分け隔てなく楽しく過ごせる場でなければなりません。

学級会活動や学生会活動などで意見が異なったりした場合は、じっくりと丁寧にお互いの意見を交流し、長い人生経験を活かして穏やかに和やかに一致点を見出す努力が求められます。

「この歳まで生きてきて、もう怖いものはない」という方が居られます。現役時代のご苦勞が偲ばれますが、高齢者が、自分達の後に続く現役世代や次世代への影響を配慮することは、人生の先達としての責務であります。

今年、市制施行100周年を迎えた福山市は、差別のない明るい住みよい町づくりを目指し、長年にわたって努力を積み重ねてきました。老人大学は、その福山市が設置した高齢者のための学び舎です。その学び舎で、これまでの福山市の努力を無にし、若い世代に悪い見本を晒すようなことはあってはなりません。

公の学び舎である老人大学とそこに学ぶ老生は、多くの市民から注視されていることを自覚して、次のことを目指していきたいものです。

- ① 健康づくりに努める老生
- ② みんな楽しく過ごす老生
- ③ 友だちを大切に作る老生
- ④ 交通事故に遭わない老生
- ⑤ ボランティアに励む老生

老人大学は、福山市市制施行100周年を記念して、

- ① 100万本のバラを咲かすためのバラ花壇のお世話
- ② 100周年記念誌「ともに歩んだ一世紀」の作成に百歳の方の肖像画を描いて参画
- ③ 福山を舞台とした100周年記念映画、玉木宏主演「探偵ミタライの事件簿—星籠の海」の特別鑑賞券の積極販売
- ④ 夏祭り二上り踊り出演用に老生の文字入り法被130着を揃え、きちっと浴衣を着つけて出演する隊列・気楽に法被を羽織って出演する隊列の2組編成として、参加人数を増やして夏祭りを更に盛り上げる。などに取り組みます。また、老生のプラカードをこのように新調されました。

老生の皆さんは、単なる受講生やましてお客様などではありません。福山市・市老連・講師の先生方・先輩学生が尽力され、発展させてきた伝統ある老人大学の学生であり、主役であります。

老人大学の今ある条件を最大限に活かして、進んで学習に取り組み、学級の運営に携わりましょう。学習の場としての校内秩序と環境を守りましょう。共に学ぶ者同士の友情を育み、その輪を広げましょう。学生会活動に参加し、提案と実践を行いましょ。クラブ活動も楽しみましょ。そして地域ボランティア活動に取り組みましょ。

個々の学生さんが、老生としての学びを自らの日常生活の充実と我が町福山の発展に役立てて頂けるよう、職員一同精一杯努力していくことをお約束して、第四六期入学式・式辞といたします。

2016年(平成28年)4月5日

福山市老人大学 学長 高橋 和男